

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		島袋 恒男	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	①授業の「出欠・振り返り票」を作成し出欠の確認と授業の振り返りをさせる。学生の成長・就職に関する話題・資料を講義で取り上げ、わかりやすい授業に取り組む(pp t, ビデオ, 学生への問いかけの重視等)。授業で「ショートレポート」により書く力・まとめる力の育成。②演習・卒論・大学院研究指導で学生の意欲・意見を重視し主体的な学びを育成する。統計指導に基づく研究指導を重視する。③必要に応じ学部の就職支援に参加する④懇談会等・学生の求めに応じて就職相談・採用試験の相談・情報提供をする。⑤エントリーシートや志望理由書の添削指導を実施する。			0.30	出席票により毎回出席をチェック,各時間簡単な振り返り実施。PPTによる授業の実施。ビデオにより青年心理学では青年期の発達・職業、進路指導の心理学では高校進路指導とキャリア教育の実際を取り上げ学習に取り組ませ,記述・まとめる力の育成を重視。統計は演習重視。卒論1人・修論2人指導論文完成。次年度卒論1名、修論では2名の構想発表させる(3月予定)。3年生を就職センター「教採セミナー」に紹介。学校ボランティア1名紹介。		
研究	0.25	①学力向上の実践に関するデータの学会発表を行い論文として公表する。 ②大学生のキャリア教育と支援に関する研究に取り組む。③前年に引き続き学外との学力向上の連携に取り組む。※外部資金獲得に向けた取組がある場合には必ず記載ください			0.20	「学力向上に関する研究発表1件(教心)」。高校生の進路発達の論文を紀要に発表。その他複数の小学校と中学校で学力向上の企画に参加。校内研修会4回。		
社会 貢献	0.25	①小学校教員の学力向上に関して連携し実践する(予定) ②必要に応じ学力向上・キャリア教育に関する教育委員会と学校現場への支援・研修等に従事する ③小学校学校評議員に従事する。アドバイザーに従事。⑤教委委員会に参加する。			0.35	中学校での学力向上で1校連携し調査を実施。校内研修会2回実施。3小学校の「学校評議員」に従事し授業研究に参加。1高校「学校評議員」に従事。県「公私立高校協議会」に従事。県教委「教員選考改善委員」「教育基本計画作成委員」那覇市「青少年協議会委員。県産業教育審議会、県教育委員会点検・評価委員会委員。沖縄県振興審議会専門部会委員に従事。放送大学客員教員。		
管理 運営	0.20	①大学院コース主任、3年次指導教員 入試委員。全学営利企業兼業審査委員会委員 キャリア概論担当者			0.15	大学院心理学コース主任。学部入試委員。3年次指導教員。全学営利企業兼業審査委員会委員。キャリア概論担当。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田 悦治	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	多様な教育現場での表現活動を軸にした教育実践を展開する。路地裏楽校(名護市)、一番街商店街WS(沖縄市)、離島でのアート・アクションWS(座間味村)等の実践を通して、協働と表現活動から生まれる学びの創造に取り組む。		0.30	稲田小学校(名護市)、一番街商店街(沖縄市)、座間味島(座間味村)、西原町図書館(西原町)でのワークショップ実践等において、場作りや教材開発を中心とした演習授業に取り組んだ。また、認定試験の問題作成、教員採用試験対策として指導案作成・模擬授業等の指導に取り組んだ。	
研究	0.20	子どもを含む多様な人々と地域を繋ぐ教育・文化実践の可能性を探求する。主に「場」から生まれる創造活動を実践を通して研究する。		0.20	「うみ」「シマ」をモチーフにした教育・文化実践の研究を継続させると共に、子どもと地域を繋ぐ教育・文化実践の可能性を探求することに取り組んだ。	
社会 貢献	0.20	授業研究会での指導助言や県内における美術・造形教育に関わる支援に取り組む。		0.20	附属小学校での授業研究会、中城南小学校での校内研において指導助言を行った。また、障害者週間ポスター審査員等で特別支援教育の支援に取り組んだ。	
管理 運営	0.30	美術教育専修、子ども地域教育コースの教室運営において、業務が円滑に行われるよう取り組む。特に子ども地域教育コースにおいては、教室主任として学部改組に係る諸々準備等にも取り組む。		0.30	美術教育専修、子ども地域教育コースの教室運営において、業務が円滑に行われるよう取り組んだ。その他、学部改組に係る諸々準備等に取り組んだ。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		島袋 純	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	3.00	卒業研究指導に力を入れる。授業において、可能な限りアクティブラーニング的な手法を導入する。		3.00	卒業研究指導に力を入れることができた。授業において、政治学概論及び地方自治論についてアクティブラーニング学習法を導入した。	
研究	4.00	科研費の研究(沖縄振興一括交付金の研究)の最終年度にあたり、報告書を完成させ、提出する。海外での国際的なシンポジウムでの報告又は学会発表を行う。そのため週20時間以上の研究時間を確保する。		3.00	科研費の研究(沖縄振興一括交付金の研究)の最終年度にあたり、報告書を完成させ、提出することができた。海外での国際的なシンポジウムでの報告又は学会発表を行うことができた。しかし、週20時間以上の研究時間を確保することはできなかった。	
社会 貢献	2.00	全国学会の沖縄開催事務局や、理事、委員等を可能な限り引き受けない。またこれまでの役職は辞任する。新聞、雑誌等の取材は厳選して引き受け職員研修の講師や講演会講師も厳選する。		2.00	全国学会の沖縄開催事務局や、理事、委員等を可能な限り引き受けなく、またこれまでの役職は辞任することができた。新聞、雑誌等の取材は厳選して引き受け職員研修の講師や講演会講師も厳選して減らすことができた。	
管理 運営	1.00	可能な限り削減する。特に申請や予算管理等の事務的な業務を可能な限り雇上げによって削減する。休日出勤も可能な限り拒否する。		2.00	管理運営の業務については、ほぼ削減することができなかった。申請や予算管理等の事務的な業務は雇上げによって一部削減することができたが、大学学部改革や新制度導入のため新たな業務が拡大し管理運営的な仕事は増大した。休日出勤もなかなか拒否できなかった。	
	0.00			0.00		
計	10.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		10.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田吹 亮一	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.40	学部、大学院の講義について、これまで同様、授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを図る。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドをチェック、受講生が理解しやすい内容に更新する作業を継続する。自然環境科学教育コース4年生の指導教員として進路相談に当たる。		0.50	学部の授業については、今年度もこれまでも配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを行った。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドをチェック、受講生からみて分かりやすいものにする作業を行った。自然環境科学教育コース4年生の指導教員の役割を果たした。	
研究	0.40	今年度中に2本の論文の投稿を行い、掲載されるようにする。		0.20	1本の論文(田吹・野島, 2016)が昨年9月発行の教育学部紀要に掲載された。	
社会 貢献	0.10	沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員等の学外の職務に対応する。		0.10	沖縄県児童生徒科学作品展審査委員を務めた。附属小での2件の研究授業(3年次学生)の助言者を務めた。	
管理 運営	0.10	自然環境科学教育コース主任としての職務を行う		0.20	自然環境科学教育コース主任としての職務を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋 俊明	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.25	化学の講義では動画を用いて、有機化合物の三次元構造をより深く理解できるよう試みる。また学生実験では身の回りにある材料を用いた実験を行い、生徒の興味を引き出すよう心掛ける。また研究室に配属され修士学生2名、学部生3名と密にディスカッションし、学生の希望、目標などを把握し本人の希望に沿った進路に進むことが出来るよう適時助言する。		0.25	化学の講義では、有機化合物の三次元的な構造を動画や分子模型を用いて、化合物の立体構造の理解を深めるよう努めた。学生実験では身近な植物に含まれる色素の分離を行ったところ、身近な植物から簡単に色素が分離できる仕組みに興味を持つ学生が多かった。また課程2名、4年生3名の研究指導を行った。研究指導においては週1回の報告会を実施し、学生と密にディスカッションを行い、それぞれの学生が本年度の課題を遂行した。	
研究	0.55	沖縄に自生する2種類の植物抽出物が骨格筋の糖取り込み促進作用を示しているので、この抽出物に含まれる活性物質の分離精製を進め、その化学構造式を明らかにする。		0.55	沖縄に自生する植物から骨格筋への糖取り込みを促進する化合物を2種類単離し、その構造を明らかにした。	
社会 貢献	0.10	沖縄に自生する植物が生産する薬理活性物質、新規薬理活性を明らかにすることで、未利用海洋資源の付加価値を高めることが出来ると考えられる。		0.10	沖縄に自生する植物から骨格筋への糖取り込みを促進物質を単離した。得られた化合物は糖尿病治療薬のリード化合物となる可能性があり、沖縄県の植物資源の付加価値が高くなったと考えられる。	
管理 運営	0.10	自然環境科学教育コースの図書紀要委員としての職務を遂行する。		0.10	自然環境科学教育コースの図書紀要委員としての職務、琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員、機器分析支援センター運営委員の職務を遂行した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		富永 篤	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.35	学生が面白く、わかりやすいと感じられる内容を目指し、また講義、実験のレベルも一定水準以上のものになるように努力する。卒業後、必要とされるスキルや能力を身につけられるような講義、実習を行う。研究室の学生、大学院生の就職、進学支援の相談にのり、目標実現のために可能な限り協力する。		0.30	学科の学生向けの講義や実験では、新課程の内容を講義、実習に盛り込み、教育現場で役立つ情報や経験を提供できるように心がけた。こうした分野は採用試験でも高頻度で出題されているので採用試験対策としても有用だと考えている。実習では、学生が経験しておけば、将来役に立つと考えられる内容を重点的に取り扱った。研究室の学生に対しても、研究、進路指導を含め積極的に関わり、一人一人にきめ細やかな対応を心がけた。	
研究	0.45	系統分類、系統地理、生態に関する研究について学術論文1報の発表を目標とし、学会で発表を行う。採択中の科研費の研究課題の成果発表を心がける。今年度は科研費の最終年度であり、新たな科研費の獲得のため、準備を進める		0.40	国際誌に1報が受理され、1報投稿中である。投稿中の論文の内容は科研費関連である。和文誌に1報を発表した。国内学会、研究会で2回発表を行った。国内開催の国際学会でも1回発表した。学生・共同研究者との発表は3回だった。科研費に4研究課題で応募した。学外助成金に2つ応募し1つ採択された。	
社会 貢献	0.10	小、中、高等学校との連携、環境教育活動、自然環境の保全活動へ積極的に参加、関与する。特に県のレッドデータブックの改訂に関する希少生物の生息情報の収集、外来種対策に貢献する。また所属学会の各種役職を仕事が滞ることのないようにこなしていく。		0.25	5学会(研究会)の英文誌編集委員、庶務幹事、運営委員、地区委員、評議員を担当した。沖縄開催の3つの学会の年次大会で実行委員として大会運営に協力した。環境省外来種対策に助言をした他、県レッドデータブック改訂の委員、県外来種対策検討会の委員を担当した。附属中の共同研究者として協力した。	
管理 運営	0.10	担当する全学の委員会、学部の委員会の会議にできるだけ出席し、委員会の運営のために尽力する。		0.05	学部の学生生活委員会の委員、全学の委員会の委員として、求められる職務をこなした。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		濱田 栄作	所 属	教育学部 学校教育教員養成課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.40	担当科目について、学生の理解度および満足度を高める授業の工夫や教材開発を行うとともに、アクティブラーニングを意識した授業を取り入れる。また、年次指導教員として、学生生活および学習・進路等の相談および助言を実施する。		0.35	担当科目について、学生の理解度および満足度を高める授業の工夫や教材開発を行うとともに、アクティブラーニングを意識した授業を取り入れた。また、年次指導教員として、学生生活および学習・進路等の相談および助言を実施した。また、附属小学校の共同研究者として、アクティブラーニングを取り入れた授業づくりの支援を行った。	
研究	0.40	採択中の科学研究費補助金(代表1件、分担1件)に関する研究を遂行するとともに、新規研究課題を創出し、各種助成金の獲得を目指す。		0.40	科研費の代表者を務める研究については、最終年度として成果をまとめ、国際シンポジウムで2件の成果発表を行った。また、分担研究の1件については、県内の中学校教員との連携をすすめ、多良間島でエネルギーに関する授業実践を行った。	
社会 貢献	0.10	教育実践総合センターのアドバイザースタッフ派遣事業や、地域の各種団体からの要望に応える。		0.10	石垣市立大浜中学校における指導助言や、沖縄県児童・生徒科学賞作品展(物理分野)、および沖縄青少年科学作品展(アメリカンスクール)の審査委員を務めた。また、沖縄エネルギー教育地域会議(経済産業省資源エネルギー庁)の委員として、県内のエネルギー教育の推進に努めた。	
管理 運営	0.10	教育委員として、大学教育の改善に取り組む。		0.15	平成29年度の改組に伴うカリキュラム編成や、全学学士教育プログラム委員として、大学教育の改善に取り組んだ。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		笹澤 吉明	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	学部における「社会福祉概論」「衛生・公衆衛生学」「健康管理学概論」「サッカー」「生涯スポーツ」「卒業研究」、大学院における「学校保健学特論」、共通教育における「サッカー実技」「フットサル」の全コマを遂行する。教員免許更新講習を開講する。学内の科研費申請書作成のアドバイザー。琉球大学サッカー部の監督として学生を指導する。国立台湾体育運動大学(趙学部長)とのサッカー国際交流。教員志望者への指導、大学院進学志望者への指導、一般企業志望者への指導を適宜行う。		0.30	学部・大学院の講義・実技を滞りなく遂行した。教員免許更新講習を「睡眠教育」と「疫学」と「サッカー実技」に関する5コマを実施した。科研申請について適宜アドバイスした。サッカー部監督を務めた。国立台湾体育運動大学とのサッカー国際交流を遂行した。学生の進路指導を適宜行えた(現役生の小学校教諭合格1名、既卒者1名が高校体育教諭合格、その他民間企業など)。	
研究	0.30	科研基盤研究C「親子で取り組む電子睡眠改善プログラムの開発及びその疫学的検証」に取り組む。アプリケーションを開発し親子にパイロットスタディを行う。基盤研究B「睡眠教育パッケージの開発と教育現場における改善効果の検証」に着手する。「嘉手納飛行場周辺騒音度調査遂行(防衛省)。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」の改訂。		0.30	「親子で取り組む電子睡眠改善プログラムの開発及びその疫学的検証(基盤C)」の遂行及び学会発表。「睡眠教育パッケージの開発と教育現場における改善効果の検証(基盤B)」。「亜熱帯島嶼地域の女兒の運動(基盤B)」の遂行。嘉手納飛行場周辺騒音度調査遂行(防衛省)。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」の改訂。「Active Aging健康管理学(八千代出版)」執筆を行った。	
社会 貢献	0.25	沖縄県教育委員会家庭教育推進委員会委員。防衛省請負業務の「嘉手納飛行場周辺騒音度調査」委員。防衛省、国土交通省、環境省の学術アドバイザー。公開講座「琉大生がサッカーと勉強を教えます！」の代表講師。その他、県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演。アドバイザー講師。		0.25	全ての委員活動を滞りなく遂行した。県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演会は平成27年4月より平成28年2月現在10回行われた。県教育庁の家庭教育支援フォーラムにて児童生徒の生活習慣調査の結果報告を行った。公開講座も無事に遂行している。	
管理 運営	0.15	入試委員。全学の科研費申請書作成アドバイザー。		0.15	入試委員、大学内科研費獲得アドバイザーを適宜行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		



(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		宮城 政也	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	学部:「共通教育」「メンタルヘルス論」「学校保健」「生涯スポーツ実技」について、それぞれの達成目標の具現化に取り組む。大学院:「学校保健学特論Ⅱ」「学校保健学特論演習Ⅱ」について達成目標の具現化に取り組む。学生の就職、進学に関する計画的指導の実施			0.35	概ね達成。授業評価等を参照し、更なる授業の充実を図る		
研究	0.35	科研費(基盤B,萌芽)について、計画的な推進。それに関連して論文5編(筆頭2, 共同3),学会報告(日本健康教育学会,日本学校保健学会, ほか)4件を予定。			0.35	概ね達成。科研費, 更なる研究活動の充実		
社会 貢献	0.15	1.沖縄県スポーツ推進審議会副会長。2沖縄県児童生徒の体力向上推進委員会委員長。沖縄県スポーツ医・科学委員会。3.教員免許更新講習。4.教員経験者研修等に対する積極的な貢献			0.15	概ね達成		
管理 運営	0.15	全学付属図書館学術基盤選定委員会			0.15	概ね達成。しかし、次年度以降の検討課題が山積。後任の委員への詳細な引継ぎが必要。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		森山 克子	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニングに基づいた授業内容とする</li> <li>・栄養士の現場(保育園、学校等)と関わる取り組みを行う。</li> <li>・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。</li> <li>・「校外実習」の給食現場を選定して調整して実施する。</li> <li>・授業終了時間5分前に授業のふりかえりを実施する。</li> <li>・担当学年の学生に対しては、個別指導を行う。</li> </ul>		0.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニングに基づいた授業した。</li> <li>・「栄養教育実習」現場の担当栄養教諭、担任教諭等と細やかに調整してそれぞれの学生にあった指導をおこなった。さらに、教育実践演習では、西原町坂田小学校と連携して学生による授業を行った。</li> <li>・「校外実習」は学生の自宅から通えて指導能力の高い指導者が勤務する調理場を選定しているよう調整し依頼でした。</li> <li>・授業終了後のふりかえり個人の学びの自己評価を実施しコメントした。</li> <li>・学校栄養職員の採用試験を指導して、現役の合格者を出した。</li> </ul>	
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属小学校との連携による共同研究</li> <li>・沖縄の家庭料理の調査・研究(日本調理科学学会協同研究)</li> <li>・給食を活用した食育推進の研究</li> </ul>		0.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属小学校健康教育の共同研究者として授業や研究発表等で指導した。</li> <li>・沖縄の家庭料理の調査・研究(日本調理科学学会協同研究)八重山地区の調査を実施した。</li> <li>・給食を活用した食育推進の研究は、座間味中学校の中学生の3日間食事調査を実施した。</li> </ul>	
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」</li> <li>・大学公開講座「3歳児のための子どもシェフクラブ」の実施</li> <li>・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食品の安全安心懇話会委員</li> <li>・公益法人沖縄県学校給食会評議員</li> <li>・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者</li> <li>・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師</li> <li>・栄養教諭10年経験者講習認定講師 ・</li> <li>・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭免許更新講習講師</li> </ul>		0.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」の実施</li> <li>・大学公開講座「3歳児のための子どもシェフクラブ」の実施</li> <li>・大学公開講座石嶺児童園と連携した「巣立ちの子どものためクッキング」</li> <li>・沖縄県スポーツ振興審議会委員</li> <li>・沖縄県食品の安全安心懇話会委員</li> <li>・公益法人沖縄県学校給食会評議員</li> <li>・宜野湾市食育推進会議議長</li> <li>・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師</li> <li>・栄養教諭10年経験者講習認定講師</li> <li>・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭免許更新講習講師</li> </ul>	
管理 運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯教育コース主任として学部の管理運営にあたる</li> <li>・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等</li> <li>・栄養教諭部会長並びに、教育実習委員として支援と指導を行う</li> <li>・南部広域行政組合教育委員会・琉球大学教育学部連携協定事業委員</li> </ul>		0.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯教育コース主任として教育学部の管理運営や次年度から農学部への移管にあたり調整・準備・県や国への申請等の任にあたった。</li> <li>・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等を行った。</li> <li>・教育実習委員としてまた、栄養教諭部会長として支援と指導を行う</li> </ul>	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		金城 昇	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウエイト 比(予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウエイト 比(実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.15	行動科学や行動経済学を基礎とした健康教育プログラムを実践検証を進める。健康心理学, ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践する。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育・行動科学・行動経済学を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ活用し貢献する。		0.10	行動科学や行動経済学を基礎とした健康教育プログラムを実践検証を進める。健康心理学, ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践する。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育・行動科学・行動経済学を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ活用し貢献した。	
研究	0.10	恩納村(健康づくり村内調査・評価), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を引き続き受けるとともに, 市町村民の健康づくり・介護予防事業を推進する。今年度開催の日本健康教育学会沖縄大会実行副委員長として準備と運営にあたる。同様に, 引き続き沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進する(12市町村及びその管下の小学校と連携)。		0.15	恩納村(健康づくり村内調査・評価), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を受け, 市町村民の健康づくり・介護予防事業を推進した。今年度開催の日本健康教育学会沖縄大会実行副委員長として準備と運営した。さらに, 沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進した(12市町村及びその管下の小学校と連携)。	
社会 貢献	0.10	ひきつづき西原町・うるま市・宜野湾市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員としてつとめる。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として協力する。 JICA及び沖縄県看護協会のマーシャル諸島でのフォローアップ事業と生活習慣病に関する事前調査に協力する。		0.10	ひきつづき西原町・うるま市・宜野湾市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員としてつとめた。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として協力した。沖縄県振興審議会分野別委員及び沖縄健康21策定委員として貢献した。	
管理 運営	0.55	附属小学校校長として附属学校の運営にあたる。		0.60	附属小学校校長として附属学校の運営にあたった。	
進路 指導	0.10	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生・院生の指導にあたる(2年次指導教員)。		0.05	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生・院生の指導にあたった(2年次指導教員)。	
計	1.00			1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊藤 義徳	所 属		教育学部 生涯教育課程	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	心理臨床科学コース, 臨床心理学専攻の各学生の教育に取り組む。 17名のゼミ生について, それぞれの目標に応じた教育を行う。 特に, 5名の学部4年次, 4名の修士2年次については, 無事卒業研究, 修士論文を提出させる。 附属中学校スクールカウンセラーとしての職責を全うする。			0.30	全員が無事卒業研究, 修士論文を提出できた。 附属中学校スクールカウンセラーとして, 7ケース35回のカウンセリングを行った。 当ゼミから, 学業成績優秀者(学費免除), 及び優秀学生表彰者を排出することができた。		
研究	0.20	科研費3年目の研究を無事に遂行する。			0.20	無事遂行した。		
社会 貢献	0.30	複数の学会理事業務等をつつがなく遂行する。 県内市町村における役職をその名に恥じぬよう遂行する。 その他, 依頼のある講演, 研修等について責任を持って取り組む。 沖縄少年院, 沖縄女子学園での支援活動を全うする。			0.30	日本感情心理学会常任理事, 日本認知・行動療法学会理事, 日本マインドフルネス学会理事として職責を果たしている。 宜野湾市いじめ問題専門委員として職責を果たしている。 研修講師を全うした。沖縄少年院, 沖縄女子学園での指導を全うした。		
管理 運営	0.20	全学においては, ハラスメント相談支援センター副センター長, 教員免許更新講習実施委員会委員長, ハラスメント防止対策委員会委員, 安全衛生委員会委員, 附属中学校スクールカウンセラー等, また, 学部においては, 学部教育実習委員会委員, 共同研究推進委員会委員の職責を全うする。			0.20	左記委員会活動を全うした。 特に, ハラスメント相談支援センターでは, 多くの相談業務, 管理運営業務を真摯に務めてきた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			